

令和8年度文楽を中心とした古典芸能振興事業企画運営業務委託契約にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

「文楽を中心とした古典芸能振興事業実行委員会」（構成団体：大阪市、公益財団法人文楽協会）では、「令和8年度文楽を中心とした古典芸能振興事業企画運営業務委託」について、公募型プロポーザル方式により提案募集を行い、有識者会議の審査を経て、次のとおり最優秀提案者（契約候補者）を決定いたしました。

1 案件名称

令和8年度文楽を中心とした古典芸能振興事業企画運営業務委託

2 選定した受注予定事業者

伝統芸能創出事業体（代表構成員：一般社団法人日本の伝統芸能）

3 有識者会議による審査の結果

（1）有識者会議名簿（五十音順、敬称略）

委員氏名	役職等
小味 潤 彦之	同志社女子大学 学芸学部 音楽学科 准教授
権田 康行	大阪アーツカウンシル統括責任者
塩見 正成	公益財団法人大阪観光局 観光事業部 事業部長

（2）審査を行った事業者

伝統芸能創出事業体

全1者

（3）評価結果（有識者の評価点の合計）

評価項目	審査内容	配点	契約候補者 評価点
事業の総合的な企画力	・本事業目的の具現化に向けた考え方が整理されているか ・文楽への関心を高める具体的な内容が盛り込まれているか ・文楽公演におけるターゲット層に応じた新たな演出等がみられるか	90	75
事業実施体制	・事業を実現するのに必要な実績・ノウハウを有しているか ・公演等の実施内容に妥当性があり、実現性が高いか ・実施体制やスケジュール管理に無理がなく、実現性・実行性が高いか	90	72
広報・情報発信	・対象とする世代に向けた効果的な広報手段・情報発信方法を行えるか ・文楽鑑賞への興味喚起及び文楽の魅力を発信する内容が盛り込まれているか ・来訪者向けの効果的な多言語媒体に関する内容が盛り込まれているか	75	54
事業費の算出・経済性	・事業費の積算に妥当性があり、かつ経費を抑えるなどの工夫がみられるか ・入場料の考え方が確立されており、主催者が納得できる内容であるか	45	34
合 計		300	235